

ご当地スイーツで大田区の商店を活性化 白田坂通りで こだわりのケーキとパンを！

パティスリー稲垣

大田区南馬込
の白田坂通り(バス通り)沿いの商店街の中心に立地する洋菓子・製パン店であるパティスリー稲垣(大田区南馬込、稲垣昭店主、03・5709・3445)は、平成13年創業、平成16年6月に現在の場所に店を構えて11年になり、こだわりのロールケーキやチーズケーキが有名なお店である。



田区を代表する商品として平成26年度の「おおたく逸品」に認定された。放送終了後も地元銘菓として販売を継続している。現在はあげぱんに力を入れている。あげぱんと言えば、昭和世代の給食定番メニューであり、大田区

成13年創業、平成16年6月に現在の場所に店を構えて11年になり、こだわりのロールケーキやチーズケーキが有名なお店である。

昨年放映されたNHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」にてヒロインのモデルになった村岡花子は、その生涯を大森の新井宿(現大田区中央)で暮らしたことから、大田区では「大田区花子とアン推進委員会」が発足した。同店が馬込文士村散策ルート上にあることから、推進委員会からの要請を受け、お土産となる商品を開発することとなった。稲垣店主自らパッケージデザインをした焼き菓子「歓喜の白路」と「花子さんの贈物」は、大



「歓喜の白路」と「花子さんの贈物」



あげぱん5種

げぱんよりも細身でスタイリッシュな、スイーツ店ならではのあげぱんをめざしている。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

鶉の木があげぱん発祥の地であることから、地元の地域資源あげぱんをご当地グルメとし、大田区地域の知名度向上と発展をめざすプロジェクト「大田区発祥あげぱんプロジェクト in Tokyo」が発足され、同店はその立ち上げメンバーとなっている。大田区内の製パン店や製菓店を中心に参加協力企業を募り、商店会の枠を超えたあげぱんでつながる地元大田区の商店活性化をめざし、その周知活動に取り組んでいる。

販売中のあげぱんは5種類。中でも一番人気は、海苔で有名な守半總本舗とのコラボ企画「海苔チーズあげぱん」。一般的なあ